



富山大学学報

第23号 (昭和36年11月)

目次

関係法令	1
学内規程	富山大学学則の一部改正.....	1
	富山大学工学部規程の一部改正.....	1
人事異動	2
学内通知	学生募集要項(大学).....	3
	〃 (経営短期大学部).....	4
総合情報	本省の会計実地監査.....	4
	六大学事務局長会議.....	4
	第11回東海北陸地区施設担当課長会議.....	4
	学位取得者.....	4
部局情報	学生部.....	5
	第5回北信越大学準硬式野球大会.....	5
	第10回学部対抗運動競技大会.....	5
日誌	5
職員住所	6

関係法令

法律

第166号 学校教育法等の一部を改正する法律
36. 10. 31官報

規則

人事院 9-30 特殊勤務手当の一部を改正する規則
36. 10. 21〃

官庁報告

人事院 昭和36年度国家公務員採用初級試験第1次試験
合格者 東海・北陸地方 36. 10. 28官報号外

学内規程

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を評議会の議を経て次のように改正する。

昭和36年10月27日

富山大学長 梅原真隆

別表(第1)中、工学部、電気工学科、講座欄の「電気工

学第4講座」の次に「電気工学第5講座」を加える。
附則の次に次の附則を加える。

附 則(昭和36年10月27日改正)

この学則(改正)は昭和36年10月27日から実施し、昭和36年10月1日から適用する。

富山大学工学部規程の一部改正

富山大学工学部規程の一部を評議会の議を経て次のように改正する。

昭和36年10月27日

富山大学長 梅原真隆

別表(1)中、電気工学科を次のように改める。

電 気 工 学 科

学 科 目	単 位 数	学 科 目	単 位 数
専攻科目		関連科目	
数 学	4	工業化学概論	3
電気磁気第1	2	金属工学概論	3
電気磁気第2	4	機械工学概論	3
電気磁気演習	1	機械工作法大意	2
電気回路第1	2	工業力学	2
電気回路第2	4	蒸 気 罐	2
電気回路演習	3	蒸気原動機	4
電気磁気測定	2	工業電気化学	4
電気機器第1	4	水 力 学	2
電気機器第2	4	機 構 学	3
電気機器第3	4	応 用 数 学	2
電気工学設計製図第1	2	応 用 物 理	2
電気工学設計製図第2	4	工 業 英 語	2
発電及び変電	4		
送電及び配電	4	体 育	1
電力応用	4		
電気材料	2		
高電圧工学	2		
法規及び管理	2		
有線通信	3		
伝送工学	3		
無線通信第1	4		
無線通信第2	2		
応用電子工学	4		
超高周波工学	2		
電子管工学	2		
電子計測工学	2		
半導体工学	2		
工業計測	2		
自動制御	2		
電気工学実験第1	4		
電気工学実験第2	4		
電気工学実験第3	2		
電気工学特論			
卒業論文	6		

備考 電気工学特論の単位数は必要に応じて定める。

別表(1) 金属工学科、専攻科目中

材料力学 2

を

材料力学 3

に改める。

附則の次に次の附則を加える。

附 則 (昭和36年10月27日改正)

この規程(改正)は昭和36年10月27日から実施し、昭和36年10月1日から適用する。

人 事 異 動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発令庁
	塩 谷 周 三	講師(工学部)に採用する 任期は昭和36年10月10日までとする	36. 9. 11	富山大学
九 州 大 学 教 授	高 田 源 清	講師(経済学部)に併任する 任期は昭和37年3月31日までとする	36. 9. 16	〃
金 沢 大 学 講 師	都 島 文 行	講師(文理学部)の併任を解除する	36. 9. 30	〃
助 (文 理 学 部 手 部)	鈴 木 米 三	外国出張の期間を延長する 期間は昭和36年10月1日から昭和37年9月30日までとする 出張国にアメリカ合衆国を追加する	〃	〃
	高 森 三 郎	講師(工学部)に採用する	36. 10. 1	〃
	古 市 隆 好	用務員(短期大学部)に採用する	〃	富山大学 経営短期 大学部
	島 田 和 子	事務補佐員(工学部)に採用する 任期は昭和37年3月31日までとする	〃	富山大学
用 務 員 (経営短期大学部)	大 西 圭 造	経済学部へ転任させる	〃	〃
事 務 員 (経済学部)	野 上 文 雄	文部事務官に任官させる	〃	〃
技 能 員 (庶務課タイピスト)	渡 辺 登 美 枝	技能員(タイピスト)を免じ事務員を命ずる	〃	〃
(〃)	高 見 麗 子	〃	〃	〃
(文理学部タイピスト)	森 田 美 喜 子	〃	〃	〃
(教育学部タイピスト)	永 森 寿 子	〃	〃	〃
(経済学部タイピスト)	奥 田 雅 子	〃	〃	〃
(薬学部タイピスト)	多 村 節 子	〃	〃	〃
(附属図書館タイピスト)	水 野 美 須 子	〃	〃	〃
技 能 補 佐 員 (庶務課)	河 崎 美 智 子	技能補佐員を免じ事務補佐員を命ずる	〃	〃
講 師 (教育学部)	渡 辺 護	任用を更新する 任期は昭和37年3月31日までとする	〃	〃
	飯 原 藤 一	講師(教育学部)に採用する 任期は昭和37年3月31日までとする	〃	〃
	大 田 栄 太 郎	講師(文理学部)に採用する 任期は昭和37年3月31日までとする	〃	〃
金 沢 大 学 助 教 授 (工 学 部)	平 口 俊 夫	〃	〃	〃
(経 済 学 部)	四 谷 平 治	講師(教育学部)に併任する 任期は昭和37年3月31日までとする	〃	〃
講 師 (経営短期大学部)	植 村 元 覚	〃	〃	〃
教 授 (教育学部)	長 砂 実	講師(経済学部)に併任する 任期は昭和37年3月31日までとする	〃	〃
(〃)	入 沢 寿 夫	講師(文理学部)に併任する 任期は昭和37年3月31日までとする	〃	〃
助 教 授 (〃)	玉 生 正 信	〃	〃	〃
(〃)	頭 川 徹 治	任用(文理学部講師)を更新する 任期は昭和37年3月31日までとする	〃	〃

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発令庁
東京大 教授	鈴木 平	講師(文理学部)に併任する 任期は昭和37年3月31日までとする	36. 10. 1	富山大学
〃	霜 田 光 一	〃	〃	〃
金沢大 教授	市 川 渡	講師(教育学部)に併任する 任期は昭和37年3月31日までとする	〃	〃
奈良女子大 教授	北 村 君	〃	〃	〃
	小 寺 廉 吉	講師(教育学部)に採用する 任期は昭和37年3月31日までとする	〃	〃
奈良女子大 教授	津 田 松 苗	講師(文理学部)に併任する 任期は昭和37年3月31日までとする	36. 10. 5	〃
大阪大 教授	滝 沢 武 夫	〃	36. 10. 8	〃
講師(経営短期大学部)	沢 井 宗 隆	講師(文理学部)の併任を解除する	36. 10. 10	〃
助教(経済学部)	新 田 隆 信	助教(文理学部)に併任する 任期は昭和37年3月31日までとする	36. 10. 12	文 部 省
〃	海 道 勝 稔	〃	〃	〃
〃	淡 路 憲 治	〃	〃	〃
教諭(附属中学校)	亘 ゆりの	辞職を承認する	36. 10. 15	富山大学
	宇佐美 喜代美	技能員(工学部次婦)に採用する	36. 10. 16	〃
	篠原松次郎	辞職を承認する	〃	〃
大分大 教授	武 石 勉	講師(経営短期大学部)に併任する 任期は昭和37年3月31日までとする	〃	富山大学 経営短期 大学部
神戸大 教授	海 道 進	〃	〃	〃
助教(教育学部)	頭 川 徹 治	講師(薬学部)に併任する 任期は昭和37年3月31日までとする	〃	〃
助教(文理学部)	片 山 龍 成	講師(工学部)に併任する 任期は昭和37年3月31日までとする	〃	〃
京都大 教授	藤 永 太 一 郎	講師(文理学部)に併任する 任期は昭和37年3月31日までとする	36. 10. 20	富山大学
	下 斗 米 晟	講師(文理学部)に採用する 任期は昭和37年3月31日までとする	36. 10. 21	〃
助教(経済学部)	柴 田 裕	講師(経営短期大学部)に併任する 任期は昭和37年3月31日までとする	36. 10. 24	富山大学 経営短期 大学部

学 内 通 知

昭和37年度 富山大学学生募集要項(抜粋)

1. 募集人員

文理学部	薬学部
文学科……………40	薬学科……………80
理学科……………60	工学部
教育学部	電気工学科……………40
第一中等教育科 約75	工業化学科……………60
第一初等教育科 約90	金属工学科……………40
経済学部	機械工学科……………50
経済学科……………160	

2. 出願期限

昭和37年2月12日(月)～2月21日(水)

3. 検査日割及び時間表

月日(曜)	検査教科	時 間
3月23日(金)	点呼(学力検査場において)	午前8時30分～同9時(30分間)
	国 語	午前9時～同10時30分(90分間)
	社 会	午前11時～午後零時30分(90分間)
3月24日(土)	数 学	文科系 午後1時30分～同3時30分(120分間)
		理科系 午後1時30分～同4時(150分間)
3月24日(土)	外 国 語	午前9時～同10時30分(90分間)
	理 科	午前11時～午後零時30分(90分間)
		午後1時～音楽、美術(実技検査のみ)、保健体育の筆答試問および実技検査健康診断(本学において指定された者のみ)

4. 合格者発表

昭和37年4月1日(日)

昭和37年度経営短期大学部学生募集要項

(抜粋)

1. 募集人員

経営科第2部 80名

2. 出願期限

昭和37年2月21日(水)～3月2日(金)

3. 検査日及び時間表

月日(曜)	時 間	検査教科
3月26日 (月)	午前9時～同10時(60分)	数 学
	午前10時30分～同11時30分(60分)	外 国 語
	午後1時30分～同2時30分(60分)	国 語
	午後2時～同3時(60分)	社 会
	午後3時15分～健康診断(本部で指定された者のみ)	

4 合格者発表

昭和37年4月3日(火)

総 合 情 報

本省の会計実地監査

本省の会計実地監査は10月23、24の両日本部会議室で行なわれた。監査官は奥野(主査)、明野、高梨、大川の4事務官である。24日検査終了後監査についての講評があつた。そのうちに、出納事務が出納係一本で行なわれているが、何等かの内部けん制の仕組を考へてはどうか。また物品購入が本部購入に一元化されていることは大変よく、出来るなれば図書購入についても計画的に、統一的にさるゝよう要望したいとの注目すべき発言があつた。

六大学事務局長会議

10月12、13の両日本学が世話役となつて、千葉、金沢、徳島、長崎、熊本、富山の薬学部を有する六大学事務局長会議が、本学会議室を主たる会場として開催された。出席の事務局長は次の諸氏である。

- 千葉大学 岡本伊平
- 金沢大学 伊藤徹
- 徳島大学 近藤祐信
- 長崎大学 原田清
- 熊本大学 塚本盛平
- 富山大学 田中喜彦

議題は

1. 大学院設置の促進方策について(千葉大学)
2. 大学院設置について(熊本大学)
3. 修業年限の延長問題について(徳島大学)

などで、この他若干の承合事項について、協議討論が行なわれ、その間、市内特に広貫堂など薬業関係方面の実地視察をした。

第11回東海北陸地区施設担当課長会議

この会議は10月26、27の両日本学において開催された。出席者は各大学の担当者15名の他本省などから次の諸氏が出席した。

- 文部省 計画課長 中尾竜彦
- 工営課長補佐 中江喜一
- 指導課調査係長 小沢太一
- 名古屋工事事務所 所長 西村勝
- 所長補佐 桑原忠一
- 工営掛長 伊藤和夫

会議に上程の承合事項は「工事工程表を省略する取扱の法的根拠」(福井大学提出)他11件、又要望事項は「寒冷地における新営建物のスチーム暖房設備の予算について」(金沢大学提出)他4件であつて、このうち本学からは承合事項「火災報知設備は消防法により施行されているが、その実情を承知したい」、要望事項、「災害復旧予算の早期示達について」の2件が提出された。

学 位 取 得 者

- 取得者 薬学部教授 飯田武夫
- 取得学位 薬学博士
- 取得年月日 昭和36年10月25日
- 学位論文 米国産頁岩油成分の研究
- 提出大学 東京大学、薬学部
- 論文主査 教授 岡本俊彦

- 取得者 文理学部助教授 児島毅
- 取得学位 理学博士
- 取得年月日 昭和36年10月18日(教授会通過月日)
- 学位論文 分子の内部回転の研究
- 提出大学 東京大学
- 論文主査 教授 霜田光一

- 取得者 文理学部助手 阪口雅一
- 取得学位 理学博士
- 取得月日 昭和36年10月19日(教授会通過月日)
- 学位論文

Studies on Solid Carbons. (炭素の研究)

I. The Formation of Solid Carbons.

(炭素の生成)

II. The Gas-phase Oxidation of Solid Carbons.

(炭素の気相酸化)

提出大学 大阪大学
論文主査 教授 広田 鋼 蔵

取得者 文理学部助教授 横山 泰
取得学位 理学博士
取得年月日 昭和36年6月6日(教授会通過月日)
学位論文 B-オキシ酸誘導体の転位に関する研究
提出大学 大阪大学
論文主査 教授 中川 正澄

部 局 情 報

学 生 部

第5回北信越大学準硬式野球大会

本学主催第5回北信越大学準硬式野球大会は10月25日から4日間富山県営球場で行なわれた。

競技は金沢大学4、金沢美術工芸大学1、新潟大学2、富山大学2の4大学9チームの間で行なわれたが、結局本学薬学部、工学部の両チームが決勝戦に進出したが、そのうち薬学部チームが12対4のスコアで優勝した。

第10回学部対抗運動競技大会

第10回学部対抗運動競技大会は10月28、29日の両日、五福地区の黒田講堂を中心とした4会場で行なわれた。

競技はマラソン、野球、排球、籠球、バトミントン、卓球の6種目にわたって競われ、マラソン、野球は生憎の雨で11月1日に延期して行なわれた。

当日は学長選挙日でもあり、投票の為に来会した多数の教官の声援する姿が見うけられた。

種目別優勝学部は次のとおり。

排球—薬学部、籠球—一般教育、バトミントン—経済学部、卓球—教育学部、マラソン—一般教育、野球—経済学部

なお総合優勝は経済学部であった。

日 誌

本 部

10月6日 評議会 第1回入学試験管理委員会
学長候補適任者選定委員会
9日 学長候補適任者選定委員会
12日13日 六大学事務局長会議
17日 県下御来遊の皇太子御夫妻を門前で送迎する
(高志学院御訪問)

20日 学長候補適任者選定委員会
第1回入学試験管理委員会専門委員会
23~25日 文部省会計実地監査
24日 東海北陸地区庶務部課長会議(於福井大学)
26~27日 東海北陸地区施設課長会議(於本学)
27日 評議会
退職手当等の監査(文部省大臣官房人事課)
28日 補導協議会

文 理 学 部

10月2日 文学科会議
7日 教授会
10~13日 全国文理学部長会議
17日 学務補導委員会
28日 秋季レクリエーション(氷見永芳閣)

教 育 学 部

10月4日 本年度専門課程移行者のオリエンテーション
就職連絡協議会(富山県教育委員会学校教育課長代理及び学部補導委員会委員出席)
14~15日 第2回秋季レクリエーション(池の平及び野尻湖)
15日 教育学部学窓会(10時より黒田講堂)この総会で10年勤続表彰を行なった。被表彰者の氏名は次のとおり。
助教授 藤木 二 与
ク 岩 田 弘
事務官 金岡 スミ子
技能員 平石 佐一郎
附属中学校教諭 布村 清太郎
19~20日 文理学部と併設されている教育学部の学部長会議(於埼玉大学教育学部)

経 済 学 部

10月3日 教授会(第11回)
4~5日 国際経済学会第20回大会(於1.2.3番教室)
9日 専門課程進学者オリエンテーション
10日 学部職業補導委員会
12日 教務委員会、教授会(第12回)
14~15日 学部職員秋季レクリエーション(東尋坊、永平寺、芦原温泉)
26日 教務委員会、学部図書委員会、教授会

薬 学 部

10月2日 3年次前期試験終了
5日 富山地方鉄道と大学の学生輸送に関する懇談会

- 4日 教授会
- 5日 教授会
- 7日 講座主任会議
- 11日 教授会
- 12～13日 薬学部をもつ国立大学事務局長会議（於本学）
全上事務長会議（於東京大学）
- 15日 非常勤講師武田正孝逝去
- 16日 後期授業開始
九州大学医学部薬学科教授 西海枝東雄特別講演
- 20日 金沢大学薬学部長平本実他34名来部座談会
- 24日 文部省会計実地監査
- 27日 学生エックス線間接撮影
- 30日 講座主任会議
- 28日 昭和36年度後期分授業料減免選考委員会

工 学 部

- 10月 4日 文部省大学学術局庶務係長他 1 名台風被害状況視察のため来部
教授会
- 11日 文部省大臣官房会計副長学部施設を視察のため来部
- 20日 富山財務部係官台風被害状況視察のため来部
- 24日 文部省会計実地監査

附 属 図 書 館

- 10月 2日 後期夜間閲覧開始
- 10～13日 第 8 次全国国立大学館長会議
昭和36年度文部省主催館長研究集会（於広島大学）
- 22日 職員秋季レクリエーション実施（庄川峡）
- 26日 事務打合せ
- 31日 図書館商議会（第4回）、館長会議、研修会等経過報告等

経 営 短 期 大 学 部

- 10月 2日 後学期授業開始
- 10日 昭和37年度大学入学者選抜実施要項趣旨徹底協議会（於京都学芸大学）
- 13～14日 第11回国立短期大学部主事事務長会議（於岡山大学法経短大）
- 14～15日 職員秋季レクリエーション（東尋坊、永平寺、芦原温泉）
- 25日 専任教官会議（第13回）
- 26日 教官会議（第 2 回）
- 30日 後学期分授業料減免選考委員会

職 員 住 所

変 更

- 文理学部
講 師 大 谷 重 彦
- 工 学 部
事務員 加 賀 見 実

新 任 者

- 短 大
用務員 古 市 隆 好

訂 正

- 学報第22号で
工学部 野 路 末 吉
とあるを取消す。

昭和 37 年 1 月 1 日

印刷所 昭和印刷株式会社

